



## 平成24年度 第2回研修会

平成25年2月22日(金)、平成24年度第2回研修会として、当協議会の加盟館である千葉大学附属図書館の見学会を、加盟館職員30名の参加を得て開催しました。

内容は下記のとおりです。

○千葉大学附属図書館見学会 15:00～16:10

- (1) 講演・概要説明 (プレゼンテーションスペース)
- (2) 館内見学
- (3) 質疑応答 (プレゼンテーションスペース)

## 研修会報告

「千葉大学附属図書館本館 (アカデミック・リンク・センター) を見学して」

東京歯科大学図書館 伴 英一郎

平成25年2月22日(金)、「平成24年度千葉市図書館ネットワーク協議会第2回研修会」が千葉市稲毛区にある千葉大学附属図書館本館 (アカデミック・リンク・センター) (以下、「本館」とする) で開催された。この研修会では、千葉大学附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長の竹内比呂也先生の講演、概要説明の後、加盟館の図書館職員30名が本館を見学した。

### ■施設の構成について

見学者に配られた「千葉大学附属図書館本館利用案内」と「アカデミック・リンクコンセプトブック」によると、アカデミック・リンクの中核をなす本館は4つの建物で構成され、それぞれの役割・個性を明確にしながらかみ補完的に存在している。

L棟: Learning 黙考する図書館

→ 静かに読書したり、一人静かに思考する学習空間

K棟： Knowledge 知識が眠る図書館  
→ 伝統的な書庫としての機能を中心に考えられた建物

N棟： Networking 対話する図書館  
→ 複数で学習するシーンを中心に考えられた空間

I棟： Investigation 研究・発信する図書館  
→ アカデミック・リンク・センターが置かれている

※ 正門から見て正面（南側）が、ガラス貼りの建物で特徴的なN棟、東側にI棟、西側にL棟、北側にK棟がある。

#### ■館内見学について

昨年の3月に大幅改修されたこともあり、各フロアは広く、大変きれいであった。当日は、参加者を2つに分けて、1階から順に上がっていく班と4階から降りていく班に分かれて20分ほどの見学時間であった。私は、4階のフロアから見学をする班に入り、最初に見たものは、4階の見せる書棚「ブックツリー」であった。「ブックツリー」は、N棟各階の東と西に高さ3m×幅9mの書棚4面で構成される。コレクションやテーマ別の図書を、棚を作る人の視点で見せるとのことである。また見る人にとって新たな発見をもたらしているとの説明を受けた。

次に「グループ学習室」を見学した。こちらはブックツリーの間の空間に、全面透明ガラス貼りの16人用学習室2室と、8人用学習室2室で構成されている。全面透明ガラス張りということには非常に驚いたが、「見る」「見られる」という環境を実現するためのものであるとの説明を受けた。

3階に下りて、今度は「グループワークエリア」を見学した。こちらは、ブックツリーの間の空間に、パソコン50台が設置されていて、パソコンを置いていないテーブルは移動でき、10枚ほどあるホワイトボードとパソコンを使ったグループ学習に利用できるとのことであった。

そして2階に下りて、「コミュニケーションエリア」を見学した。こちらは、ブックツリーの間、300㎡ほどの空間に、3人用と4人用のテーブルがあり自由に組み合わせて大人数で使用することが可能であり、幅60cm×高さ150cmのホワイトボードが20枚ほど設置されていた。当日は、多くの学生グループが利用していて、ディスカッションを行っていた。

最後に、概要説明を受けた1階の「プレゼンテーションスペース」に戻ってきた。こちらでは、アカデミック・リンク・センター主催の様々なセミナーやイベントが定期的で開催されたり、「あかりんアワー」や「ALSAカフェ」の会場として利用されているとのことであった。正面玄関から入ってすぐ右手にあるため、建物の外から見えることもあって、通りがかりに参加することも可能という素晴らしい設備である。

以上、N棟を中心に見学をしていったわけだが、やはり1番驚いたことは「しゃべることが可能」な図書館が存在することである。しかも、豊富なスペースにおいてである。もちろん、L棟やK棟のように従来の図書館機能を備えている部分もあるが、千葉大学附属図書館はこれを覆してN棟を創り上げたことを、私は非常に興味深く感じた。私の勤務先の大学図書館では、残念ながらこのようなスペースがないので真似することは出来ないが、千葉大学附属図書館は自由に討論できる学習スペースを持ち、豊富な自習スペースがあることは、学生など利用者の

満足度に大いに影響を与えていくことであろう。

見学終了後、1階の「プレゼンテーションスペース」にて、質疑応答の時間が設けられ、忌憚のない意見交換が行われ、研修会は終了した。

最後に、講演・概要を説明して下さった竹内比呂也先生、並びに千葉大学附属図書館の皆さまに心からお礼申し上げます。

## ■ 写真で見る千葉大学附属図書館見学会 ■



《1階 プレゼンテーションスペース》  
概要説明と質疑応答はここで行いました。



《齋藤 誠一 会長》



《竹内 比呂也 先生》  
講演と概要説明を行っていただきました。



《1階 ブックツリー（雑誌）》  
ブックツリーによる見せる本棚が魅力的です。  
館内にはブックツリーが各階に設置されています。  
思わず手に取って読みたくなります。



《4階 グループ研修室、研究個室》  
座席の間隔が1.5mあり、多くの書籍を広げて  
利用できます。  
南側の窓からは、春には目の前で満開の桜が楽  
しめるそうです。



《館内見学の様子》  
図書館員の説明に聞き入っています。



《3階 グループワークエリア》  
パソコンが50台設置してあります。  
開放的な空間でグループ毎に活発な議論が行われています。



《2階 コミュニケーションエリア》  
色々な形の机があります。  
机も椅子も自由に移動できます。



《2階 授業資料ナビゲーター》  
授業に関連する図書が教員と図書館職員  
によって集められているコーナーです。  
事前・事後学習に使用されています。



《質疑応答の様子》  
参加者からは、図書館の運営に関して  
様々な質問が出されました。



◇千葉市図書館情報ネットワーク協議会  
<http://www.ccal.jp/>

Network通信 No.39  
2013年3月31日  
発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市中央図書館内  
〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7  
Tel 043-287-4081  
Fax 043-287-4074